

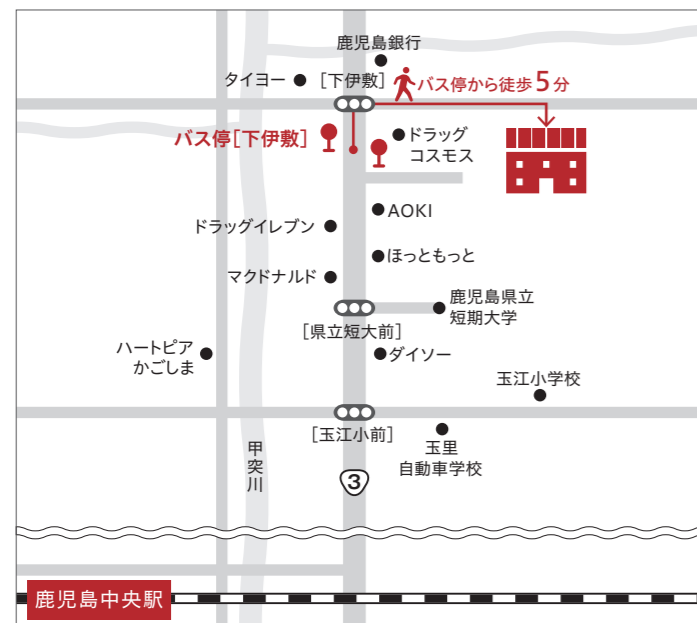
概要

	博士前期課程	博士後期課程
名称	鹿児島国際大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 博士前期課程	鹿児島国際大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 博士後期課程
開設予定時期	2027年度(令和9年度)	
開設予定場所	〒890-0005 鹿児島県鹿児島市下伊敷一丁目52番17号	
入学定員	6名 (収容人数 12名)	2名 (収容人数 6名)
修業年限	2年	3年
取得学位	修士(看護学)	博士(看護学)
競合する大学	日本赤十字九州国際看護大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 熊本保健科学大学大学院 保健科学研究科 保健科学専攻 九州看護福祉大学大学院 看護福祉学研究科 看護学専攻 西九州大学大学院 生活支援科学研究科 看護学専攻 鹿児島大学大学院 保健学研究科 保健看護学分野	日本赤十字九州国際看護大学大学院 看護学研究科 共同看護学専攻 西九州大学大学院 生活支援科学研究科 保健医療学専攻 鹿児島大学大学院 保健学研究科 保健看護学分野

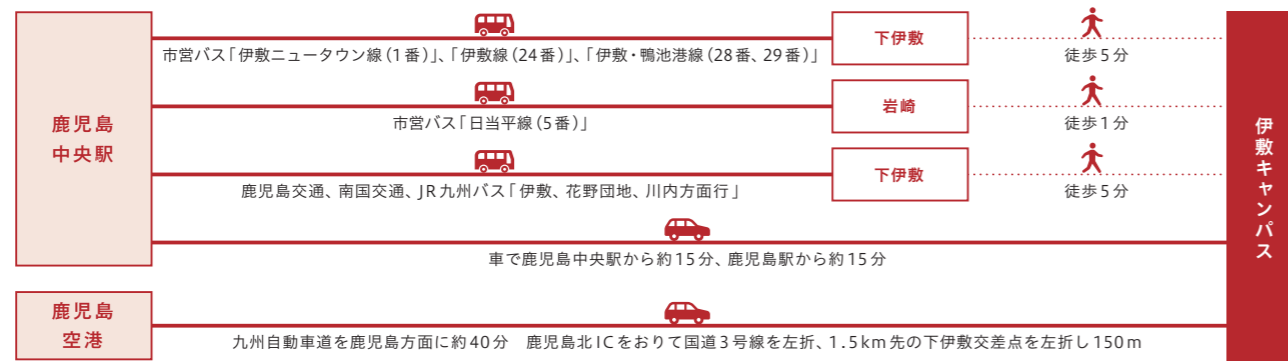
学費

課程	入学金	授業料	教育充実費	実験実習費	合計	
博士前期課程	200,000円	600,000円	200,000円	—	1,000,000円	※学納金は予定であり、変更となる場合があります。
博士後期課程	200,000円	600,000円	200,000円	—	1,000,000円	

アクセス



- 鹿児島市営バス利用  
「伊敷ニュータウン線(1番)」  
「緑ヶ丘・鴨池港線(20番)」  
「伊敷線(24番)」にて『下伊敷』下車、徒歩5分  
または  
「日当平線(5番)」にて『岩崎』下車、徒歩1分
- 鹿児島交通、南国交通、JR九州バス利用  
「伊敷、花野団地、川内方面行」にて  
『下伊敷』下車、徒歩5分



鹿児島国際大学 大学院

# 看護学研究科

看護学専攻 設置構想中

博士前期課程 / 博士後期課程

看護を究め、未来を変える力を

2027年  
4月  
設置予定



# 看護学を深く探究し、専門性を高めて 地域的課題を解決できる人材に

鹿児島国際大学大学院の看護学研究科では、博士前期課程、博士後期課程を設置します。博士前期課程では看護学に関する研究者として学識を高め、博士後期課程では高度な専門知識と倫理観に基づく看護の研究・教育・実践力を備え、新たな知見の創出と活用に取り組みます。看護の力を磨き上げ、地域社会の発展に貢献できる人材を育成します。

## 博士前期課程 [2年制]

\*長期履修制度により3年間で修了することもできます。  
\*リモートによる履修を活用して遠方からも受講できます。



**養成する人材**  
豊かな学識と高い倫理観を基に、実践科学としての看護の観点から地域的課題を探究し、創造的課題解決に取り組む優れた看護の実践・管理・教育・研究を行う基本的能力を備えた看護職

### アドミッション・ポリシー

- 1 看護学を探究するために必要な基礎学力、科学的思考能力を有する人
- 2 生命を尊重し、倫理的な感受性を有する人
- 3 自身の考えを表現し、他者と協働するコミュニケーション能力を有する人
- 4 論理的かつ柔軟に看護について探究できる人
- 5 優れた専門職業人・教育者として、地域社会や看護学の発展に貢献する意欲のある人

**課程の特徴** 優れた看護の実践・管理・教育・研究を行う基本的能力を備えた看護職を養成するため、3区分による科目を編成します。また、他研究科(経済学研究科、福祉社会学研究科、国際文化研究科)の講義科目6単位を修了単位として、履修することもできます。

<b>共通科目</b>	「看護倫理学」「看護教育学」などを通して、選択したコース、専門分野における活動を展開する上で基盤となる共通する考え方や理論を学びます。
<b>専門科目</b>	<p>◆ 看護実践探究コース 公衆衛生看護学・成育看護学・成人看護学・老年看護学・精神看護学・在宅看護学の6つの専門分野で、「特論」と「特論演習」を設定しています。「特論」では、優れた看護実践のための専門的知識や実践への取り組みについて、学びをもとに、深く議論・考究できる力を備えます。「特論演習」では実践の場で課題解決への見通しが立てられる力を培います。</p> <p>◆ 看護管理探究コース 「基礎看護学」「看護管理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「看護経済」「看護継続教育」の6科目の「特論」と、3つの「演習」科目を設定しています。「特論」では、社会のニーズに対応した看護を進展させる概念やケア技術の開発、看護管理(人材育成を含む)のあり方への専門的知識や実践への取り組みについて、学びをもとに、深く議論・考究できる力を備えます。「特論演習」では、社会のニーズに対応した看護や組織づくりの探究に取り組める力をつけます。</p>
<b>研究科目</b>	「看護学研究総論」「看護学研究方法論」「疫学・統計学」「特別研究M」の4科目を設定。修士論文に必要な一連の方法を学修し、主体的な研究態度と基本的研究能力を修得できるようにします。

- 身につける能力**
- 1 優れた看護の実践・管理・教育・研究を行う基盤となる豊かな学識と高い倫理観
  - 2 専門分野における優れた専門的知識
  - 3 専門分野における優れた看護実践能力
  - 4 新たな知見を活用し課題解決に創造的に取り組む基本的能力
  - 5 地域的課題を深く探究、解明する基本的研究能力

### 取得可能資格

認定看護管理者  
認定審査の受験資格

- 卒業後の進路**
- 病院や訪問ステーション、行政機関、介護福祉施設における、看護の実践者及び管理者のほか、保健医療福祉関連事業の起業家として、地域を支え発展させる人材
  - 看護系大学をはじめとする看護職養成機関において、看護教育者、研究者としての役割
  - 博士後期課程へ進学

### 大学院に看護学研究科を設置する目的

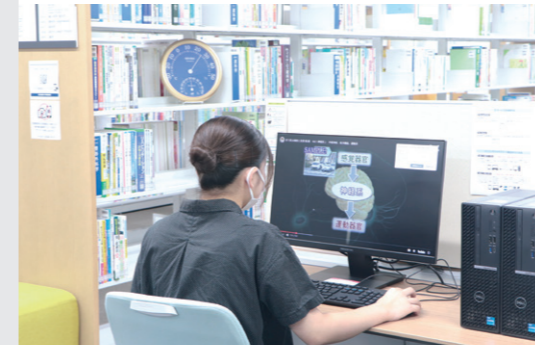
看護学に関する深い学識及び卓越した能力を養うとともに、それに基づいて高度に専門的な業務に携わるための高度の研究能力を持つ優秀な人材の育成を主目的とし、看護学に関する研究者として自立して研究活動を行う能力と豊かな学識を持つ者の養成も併せて目的とする

### 看護学研究科教育研究上の目的

高度な教育・研究によって、看護の専門性を極め、看護の実践的真理を探究し、地域的課題の解決に取り組む

## 博士後期課程 [3年制]

\*リモートによる履修を活用して遠方からも受講できます。



**養成する人材**  
高度な看護学の専門的知識と倫理観に基づく確かな研究、教育、実践における能力を備えて、新たな知見の創出と活用に取り組み、地域社会の発展に貢献できる看護職

### アドミッション・ポリシー

- 1 看護研究の特徴や研究方法について理解し、看護研究を実施する基本的能力を有する人
- 2 看護教育及び看護実践において活用される主な教育・学習理論と概念について理解し、実践において活用できている人
- 3 直面している課題を大局的な観点から検討し、より良い課題解決法を柔軟に発想し、解決に取り組む能力を有する人
- 4 高い倫理観をもち、地域社会を進展させる看護研究、看護教育、看護実践に取り組む能力を獲得したいという熱意のある人

**課程の特徴** 確かな研究能力と課題解決能力を備え、看護の実践的真理を探究するため、3区分による科目を編成します。

<b>基礎科目</b>	博士後期課程で養成する人材の基盤となる、深い人間理解と高度な倫理観を育む3科目「人間看護論」「国際看護論」「人材育成論」を設定しています。
<b>専門科目</b>	下記の3領域で、3つの『特別講義』と3つの『特別講義演習』を設定しています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 看護キャリア発達領域</li> <li>◆ 生涯発達看護領域</li> <li>◆ 地域看護領域</li> </ul>
<b>研究科目</b>	それまでに学んだ学修成果を踏まえ、専門分野の研究成果を基に、自身の探究する研究現象を学際的かつグローバルな視点から検討。論文作成に関する一連の研究過程を、自立して展開する研究能力の獲得に取り組みます。

- 身につける能力**
- 1 深い人間理解と高度な倫理観に基づき、学際的かつグローバルな視点で看護の現象を捉え、洞察できる能力
  - 2 地域的課題を、研究による新たな知見を活用し、多職種と協同して解決に取り組む高度な課題解決力
  - 3 次世代の看護を担う人材を育成するための、確かな教育能力
  - 4 保健医療介護福祉分野を取り巻く社会状況を見越し、革新的な看護ケアや地域ケアシステムを構築する知見を生み出す確かな研究を自立して遂行する能力

- 卒業後の進路**
- 看護系大学教員
  - 保健医療介護福祉分野の施設、行政機関、企業など幅広い領域で、革新的なケアの創出・地域ケアシステムの構築を行い、実践の場の改善・改革に取り組める実践者・管理者

Master's course

Doctor's course